平成29年度第1回砺波市総合教育会議 概要報告

- 1 開催日時 平成29年10月23日（月）午後4時～5時
- 2 開催場所 砺波市役所3階小ホール
- 3 出席者 夏野市長、山本教育長、小櫻教育長職務代理者、齋藤教育委員、林教育委員、信田教育委員、
- 4 出席職員 今井企画総務部長、三部教育委員会事務局長、田嶋教育委員会事務局次長、坪田企画調整課長、横山こども課長、森田生涯学習・スポーツ課長、小西砺波図書館長、河合企画調整課主幹、中田教育総務課主幹
- 5 傍聴人 なし
- 6 議 事
 - (1) 教職員の働き方改革について
 - (2) 学校ICTの充実について
(新図書館と学校図書館等の連携)
 - (3) 小学校普通教室のエアコン整備について
 - (4) 就学援助制度の充実について
 - (5) 新砺波体育センターと高齢者のスポーツ推進

7 会議の概要

(1) 開会あいさつ

- 市 長 中学校と事情は違うが小学校普通教室の冷房化等、教育委員の意見を聞いて、新年度の予算に反映できるものは実施していきたい。
- 教 育 長 学校教育は行政からも支援をいただき、概ね順調に成果を上げている。学習指導要領の改正、新たに開園した2つのこども園の今後のあり方、新体育センターの利用方法について検討が必要である。

(2) 教職員の働き方改革について

- 教育委員 学校校務の業務が25年前と比べ新しい行事が増えており、内容も大分変わってきている。また、教職員の仕事量が増え、負担になっていると思われる。
教職員の働き方改革は速やかに取り組まないこともあり、現場の実態と意向を聞きながら進めていく必要があると思う。
- 教 育 長 教職員数はここ20～30年で半減し、少ない人数で多くの仕事をしなければならなくなり、教職員自ら仕事のやり方を見直し、情報を共有化することが大切である。
- 教育委員 これまでも市教育委員会で支援教育の充実を図っていただいております、大変ありがたい。

(3) 学校ICTの充実について（新図書館と学校図書館等の連携）

- 事 務 局 学校のパソコンは今年度で9校をタブレット型に更新する予定であり、残り3校は計画的にサポート期限が切れるまでには更新していきたい。

教育委員 電子黒板を充実させるとともに、新図書館と各学校の図書室との連携がとれる仕組みを構築してほしい。

市長 電子黒板は充実させたいと思っているが、すべての学校を一度に導入するのは難しい。
図書館とシステムでつながなくても、各学校と一定程度連携を図っている。

(4) 小学校普通教室のエアコン整備について

教育委員 小学校のエアコンのある教室は、子どもたちにとって望ましい環境であり、文科省に早急な設置をお願いしていただきたい。

市長 小学校のエアコンをすべての学校に一度に設置するのは難しく、優先順位を決め設置していきたい。

(5) 就学援助制度の充実について

教育委員 入学準備金が7月支給であるとランドセルや学生服等のお金を立て替えることになるので、3月までに支給できるように見直してほしい。

事務局 入学準備金の支給対象者は70名程であり、今後の補正で3月に支給できるよう検討していきたい。

(6) 新砺波体育センターと高齢者のスポーツ推進

教育委員 高齢者の健康促進のため、バス会社等とタイアップして、新砺波体育センターと入浴設備を備える公共施設を巡回できるようにしてはどうか。

市長 いきいき百歳体操や軽スポーツ等では各地区の体育館が利用されており、新砺波体育センターでも地域の住民も活用できるように考えていきたい。

(7) 閉会あいさつ

教育長 5つの議題を聞いて、ソフト面は自分たちで見つけて行うことが大切であることを改めて認識した。また、ICT等は、使いこなせるような指導方法で効果が出てくるものであり、教育の資質向上を最優先に教職員が自分で判断してICTを活用できるよう養成していきたい。

市長 市や市教育委員会ができることについては、できるだけ実施していきたい。

事務局 本日のご意見を新年度予算の資料として反映させていきたい。
次回は、来年2月下旬の開催を予定している。